

サーキット・ライダー 2007年 6月号

愛するとは？

イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地方に行かれた。すると、この地に生まれたカナンの女が出てきて、「主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。しかし、イエスは何もお答えにならなかった。そこで、弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。叫びながらついてきますので。」イエスは、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊のところにはか遣わされていない」とお答えになった。しかし、女は来て、イエスの前にひれ伏し、「主よ、どうかお助けください」と言った。イエスが、「子供たちのパンを取って小犬にやってはいけない」とお答えになると、女は言った。「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」そこで、イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」そのとき、娘の病気はいやされた。

マタイ 15：21-28.

5月末から6月初めにかけて合同メソジスト教団グレーター・ニュージャージー教区の年次総会がありニュージャージーの全合同メソジスト教会と一部ニューヨーク、一部ペンシルバニアの合同メソジスト教会、計600教会の牧師と信徒代表が集まり、教会が抱えている問題、伝道目標、より良い礼拝作りなどについて話し合われました。教会の使命、伝道や海外宣教の問題を話し合う中で貧困や様々な差別が浮き彫りにされました。21世紀の今日になっても相変わらず存在する人種差別、階級制度、職業差別、性差別、同性愛差別、宗教差別など等が歴然と存在する中でクリスチャンはどうあるべきかが語られ、同性愛者から「教会はもっと我々を受け入れて欲しい」「我々の結婚を認めて欲しい」「ゲイの牧師も容認して欲しい」と問題提起がありました。そこで明らかになったのはクリスチャンの中に厳然と存在する聖書主義による裁きと差別でした。彼らの権利を聖書で裁くのは簡単です。しかしまた、それを聖書で擁護するのも可能です。また人種差別や性差別、貧富の差を聖書で擁護したり糾弾するのもそう難しいことではありません。

時に私たちはレッテル付けして人を十羽一からげにして上っ面のみ、形式化して裁きます。例えば日本で被差別部落を語る時に「あの人はどこどこ出身だから・・・あの人は何々人だから・・・」と、その人の人格や人柄を見るのではなく、場所や職種、国籍というレッテルでその人を見て勝手な偏見でその人を差別します。本当に大切なのはレッテル付けして人を見るのではなく、その人そのもの、その人格、信仰、行いを見ることです。差別するような人間に限ってくだらない碌でもない人間が多いのですが、そう言った輩に限って金持ちだったり、学歴や職歴が良かったり少々社会的地位があったりするるので始末に悪い。

私は差別を肯定する思慮のない発言を聞くたびにいつもイエスの発言、行動を考えます。上述の引用はマタイによる福音書からですが、イエスの発言はいつになく差別に満ちてフレンドリー（友好的）ではありません。「おや？」と思う方も多いと思います。隣人を自分のように愛すること、敵をも愛することを教えているイエスとはなにやら別人のようです。しかし、ここにいるのも紛れもないイエス・キリストです。ただし、ユダヤ人として生まれ、育てられ、ユダヤ教の戒め、歴史、伝統に生きていたイエスですが。旧約聖書のモーセの法律が書かれている申命記の7章やヨシュア記3章等を読みますと、イスラエルの仇敵である「七つの民族を滅ぼせ」と書かれています。その七つの民の中にカナン人も入っているのです。イエスに声をかけたのはこのカナン人の女でした。当然、ユダヤ人であるイエスは口を利きません。イエスの時代の最大の敵は征服者のローマでしたが、カナン人も聖書には「滅ぼせ」と書いてあるのですからイエスが彼女を無視しても侮蔑してもユダヤ人である弟子たちや周りの人々の中には誰も驚き怪しむものはいなかったのです。ユダヤ人の法律、伝統に従って冷たい態度を取ったイエスでしたが、内実彼はその女性の信仰を見ていました。そこにいるのは仇敵カナン人ではなく病んでいる娘を持つ一人の母親であり、イエスにすがり付いて助けを求める健気な人でした。イエスはその彼女の信仰に打たれ彼女の願いを聞きました。イエスの目にはもう聖書に書かれている仇敵カナン人はいませんでした。古い聖書主義、立法主義から脱皮しユダヤ人の救い主から万人の救い主へとへと変わったイエス・キリスト。私たちが聖書の立法主義から真の自由を語るクリスチャンになるべきではないでしょうか。

吉松 純

礼拝、J r . 教会（日曜学校）は毎日曜日午後4時です。

6月 3日：礼拝：聖餐式、Jr.教会：自由

10日：礼拝、Jr.教会：6月の料理

17日：父の日合同礼拝（英語）メモリアル・ガーデンにて午前10時より。礼拝後持ち寄り昼食会、ピクニック。ハンバーガーとホットドッグは教会で用意します。

注：午後4時の日本語礼拝はありません。

24日：礼拝、J r . 教会：畑仕事

7月 1日：礼拝：聖餐式、Jr.教会：水遊び

行事予定と報告

* 6月17日は父の日です。例年、アメリカ人会衆、インド人会衆と共に父の日合同野外礼拝（英語、午前10時）を守っています。どうぞご出席ください。また礼拝後、持ち寄りピクニック・ランチがあります。教会でハンバーガーとホットドッグを用意しますので、飲み物と何か一品お持ち下さい。

* 22日（金）午前11時より牧師館にて聖書の学び。マルコによる福音書。佐藤彰牧師の本を使っての学び。

* 毎週火曜日の英語聖書勉強会は6、7、8月は夏休みとなります。9月から再会します。

* 洗礼準備聖書勉強会：毎週日曜日礼拝前の午後3時より。洗礼を受ける決心をしたかた、またまだ迷っている方、何も分からない方、皆歓迎します。

お知らせ：

* 8月5日（日）から11日（土）までSMJ、ユニオン教会と協賛でサマーキャンプをします。案内書がありますので、ご近所で小学生のお子さんがいらっしゃる方には是非お勧め下さい。

感謝：

* 去る5月25日（金）岩永善信氏のクラシック・ギター・リサイタルが教会で持たれました。素晴らしい演奏をして下さいました岩永氏に改めて感謝いたします。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。

* ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

* ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

* パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 pastor@umc-japan.org 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org>